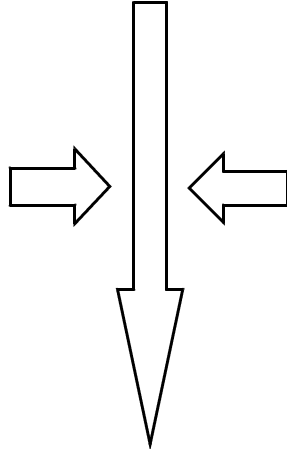


研究構想図

学校教育目標
 よく考える子 思いやりのある子 体をきたえる子

背景
 * 学習指導要領目標
 算数的活動を通して、数量や図形についての基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、日常の事象について見通しをもち筋道を立てて考え、表現する能力を育てるとともに、算数的活動の楽しさや数理的な処理のよさに気付き、進んで生活や学習に活用しようとする態度を育てる。
 * ICT 機器の活用の動き
 * ユニバーサルデザインの重要性



児童の実態・課題
 ・真面目に学習に取り組む。
 ・素直に前向きに頑張る。
 ・主体的に学ぶ姿勢が弱い。
 ・発想力、表現力が乏しい。
 教師の願い
 ・知識や技能を習得することで、学習する楽しさを味わえるようにしたい。
 ・身に付けた力を次時や次単元、他教科や日常生活で活かせるようにしたい。

令和4・5年度校内研究 研究主題
学びの楽しさを味わい、主体的に取り組む児童の育成
 ~算数科の学習過程における手立ての工夫を通して~

研究仮説
 様々な仕掛けや工夫を取り入れ、開四小の算数スタイルを確立することで、児童が見通しをもって自分から進んで学習に取り組むことができるようになるであろう。

研究に迫る手立て

①問題提示 問題把握	・具体物、半具体物など興味をもたせる問題提示	・めあての 明確化	・ICT 機器 活用
②自力解決	・教材、教具や場の工夫 ・ノート指導		
③検討	・板書の構造化 ・話形のモデル化 ・共通点、相違点や作戦名の活用		
④まとめ	・児童の言葉を引き出した一般化 ・一般化の価値付け ・算数のよさの理解 ・適用問題の工夫 ・自己評価の工夫		

目指す児童像

低学年	中学年	高学年
<ul style="list-style-type: none"> 既習をいかして解き方を見つける子 自分の考えを表現できる子 	<ul style="list-style-type: none"> 答えを求めるだけでなく、伝え合いを通して多様に解き方を考える子 自分の考えを筋道を立てて説明できる子 	<ul style="list-style-type: none"> 多様に考えた解き方からよりよい方法を見つける子 自分の考えの根拠を明らかにして、わかりやすく説明できる子